

3 経済成長を急速に遂げた中国

○巨大な人口とその消費力

(**中華人民共和国(中国)** ***) 首都:ペキン(北京)

現在、国民の半数以上が都市で暮らす

経済発展により消費が拡大 例) 自動車の販売台数:アメリカを抜き世界第1位(2017)

人口の高齢化が進む→1970年代末に(**一人っ子政策** **)を実施するが、現在では見直される

※(**一人っ子政策**)とは、一組の夫婦がもつことのできる子どもが一人に制限される政策のこと。2016年にこの政策は見直され、現在は二人まで子どもを持つことが認められている

○工業化が原動力となった経済発展

中国の経済発展:建国以降、国の計画に基づいて経済を運営

1980年代以降:自由な経済活動を取り入れるが、産業が成長せず

→日本や韓国に学び、世界との結び付きを重視

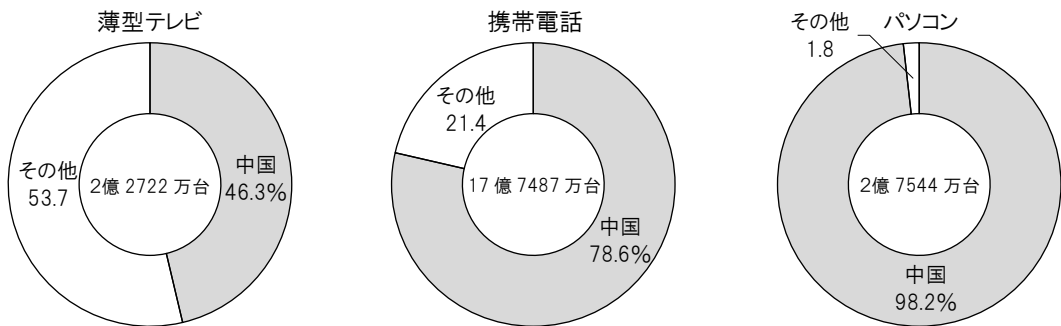
1980年代:沿海部に(**経済特区** **)を設け、外国企業を招く

※(**経済特区**)とは、外国企業を招いて工業化するため、税金などに特別な制度が設けられた地区のこと

1990年代:急速な経済成長が始まる

→中国で製造された製品は世界中で利用され、中国は(**「世界の工場」**)と呼ばれるまで成長

<工業製品の世界生産に占める中国の割合(2015)>



○都市の発展と残された課題

経済発展による都市化が進む 例) シャンハイやペキン、シェンチェンなど

→経済発展が、都市と農村の間や沿海部と内陸部で(**経済格差**)を生み出す

エネルギー資源の消費量増加

→石炭や石油などの化石燃料の消費が増加、(**大気汚染**)などの(**環境問題** ***)が深刻化
[対策] (**再生可能エネルギー**)の導入